

「削減義務実施に向けた 専門的事項等検討会」意見表明

参考資料

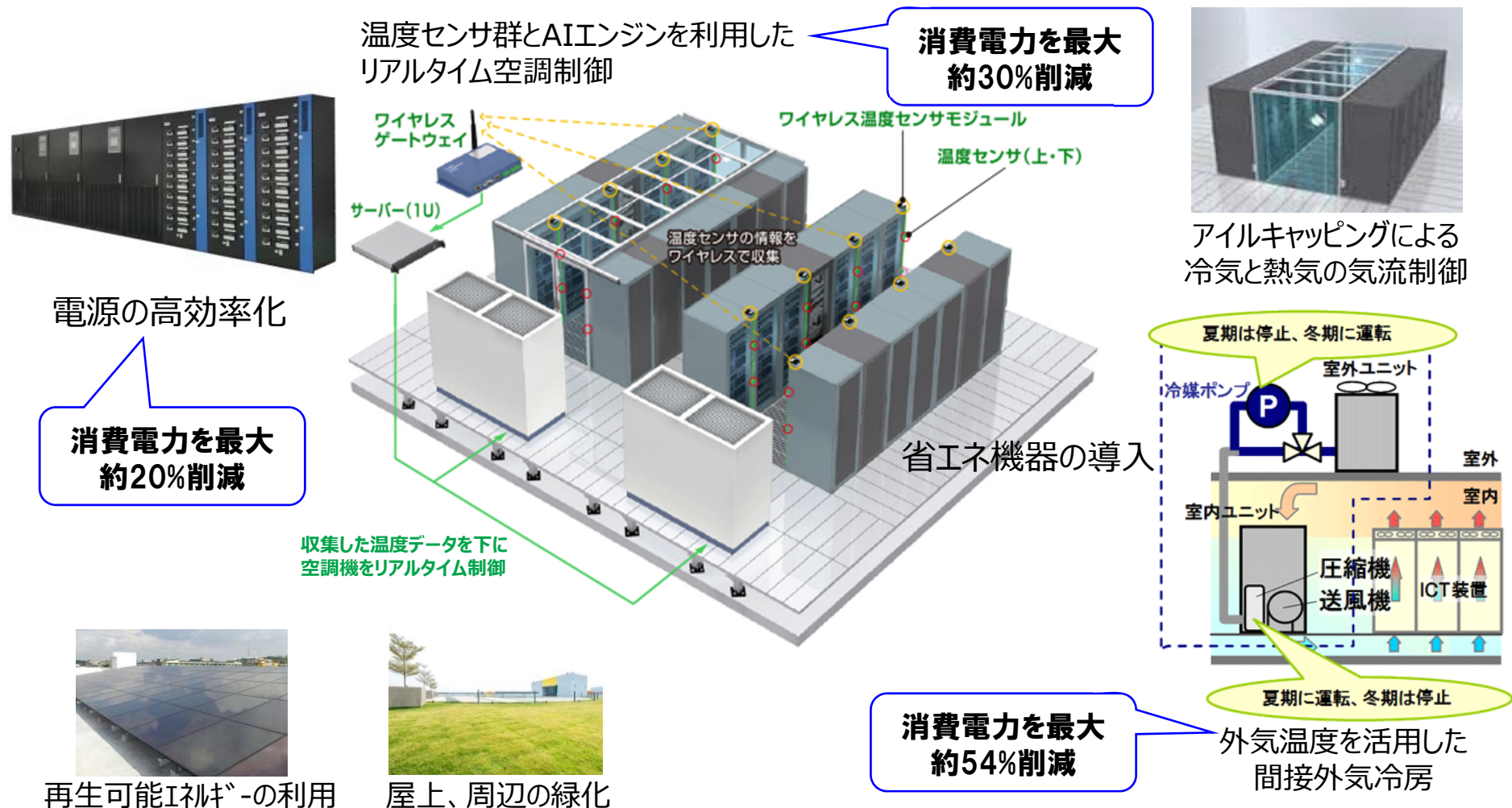
2018年 6月26日

日本電信電話株式会社

削減目標達成に向けた省エネ活動

P. 2

- 通信ビル、データセンターで、省エネ機器、高効率空調やAI、IoTを利用した最新技術を導入。
- 制度当初より、削減目標を大幅に上回る削減を達成。
⇒これまでの省エネ活動・削減努力を考慮した、公平な基準排出量の設定をお願いしたい。



通信インフラの重要性

P. 3

- 金融、運輸、行政(警察・消防など)の重要インフラを支え、24時間365日止めることなく稼働。
- 社会・経済の成長・発展を支えるインフラ・技術としての重要度もさらに向上。
- 他分野(医療分野など)の活動継続にも不可欠なインフラとして重要度が上がっている。
⇒重要度を考慮した制度設計(義務率の設定など)をお願いしたい。

重要インフラ(13分野)

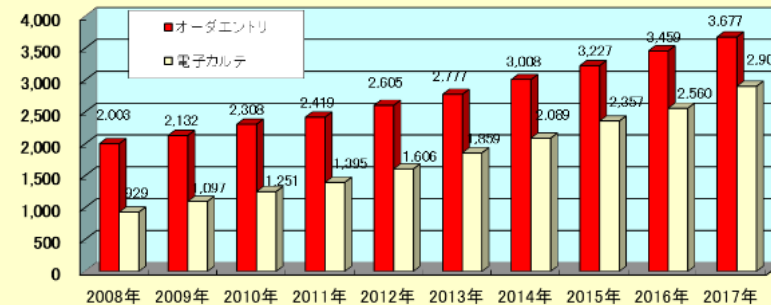
情報通信は重要インフラを支える
重要インフラ

情報通信 金融 航空 鉄道
電力 ガス 政府・行政サービス
医療 水道 物流 化学
クレジット 石油

出典:重要インフラの情報セキュリティ対策に係る第4次行動計画
(内閣サイバーセキュリティセンター)

医療分野における重要度の拡大

5割近い医療機関が電子カルテ導入、情報通信が必須に



出典:保健医療福祉情報システム工業会「医療情報システム導入調査」

社会・経済の成長・発展

情報通信は、超スマート
社会(Society5.0)の実現
など、社会・経済の成長・
発展を支えるインフラとし
ても重要度が向上

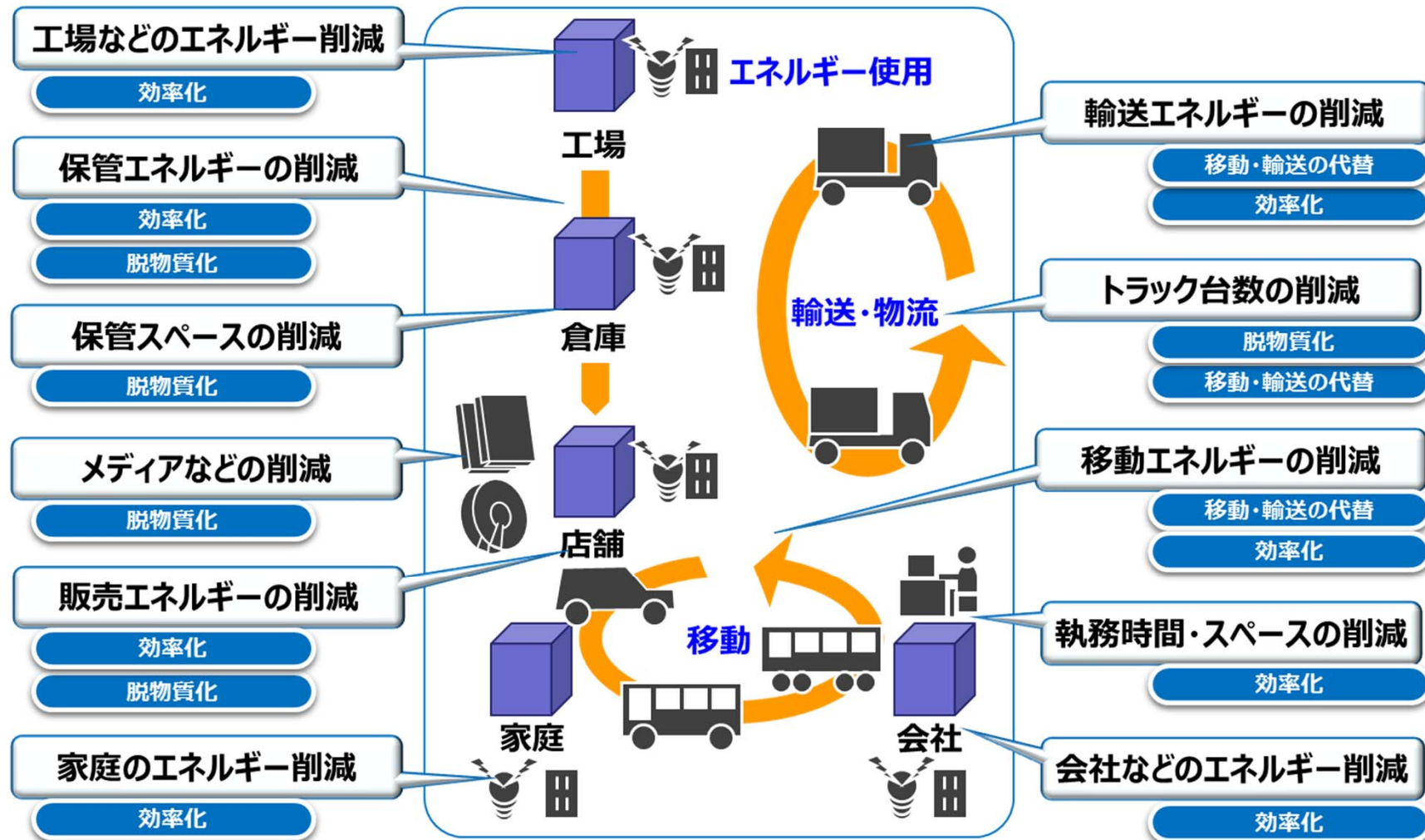


出典:内閣府



出典:総務省「将来のネットワークインフラに関する研究会」報告書概要

- 情報通信の活用は、他産業や家庭からのCO2排出量削減に貢献。
 - ✓ 情報通信には「効率化」「脱物質化」「移動・輸送の代替」の効果がある。
 - ✓ これらの効果はCO2を排出する「エネルギー・資源の消費」や「人の移動、執務」、「物の移動、保管」を削減。
- ⇒社会全体のCO2削減貢献寄与も考慮した制度設計(義務率の設定など)をお願いしたい。



更なる削減に向けた省エネ技術・設備の導入に向けて

P. 5

- 第3、4計画期間に向け、AI、IoT等のビックデータ解析等データセンタの負荷増が見込まれる。
- これまでの省エネ技術・設備に加え、新たな技術・設備の導入で削減目標達成をめざす。
⇒省エネ技術・設備の導入への支援をお願いしたい。

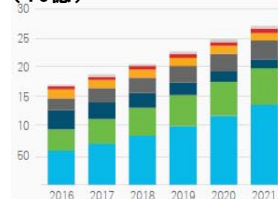
AI、IoT等の拡大による
エネルギー消費増加が
見込まれる

通信データの増加
(エクサバイト/月)



出典: Cisco Visual
Networking Index:
予測と方法論、
2016~2021年
(2017.06.06)

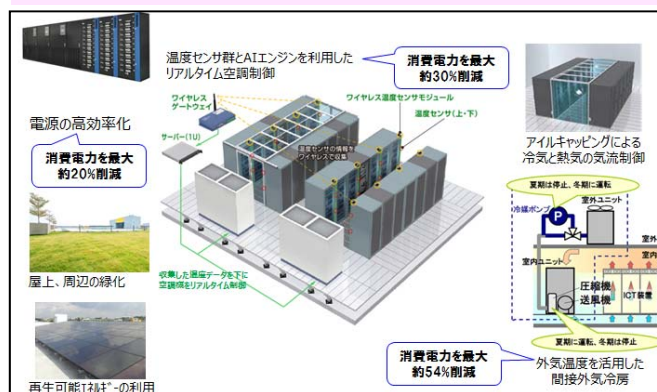
デバイスの増加
(10億)



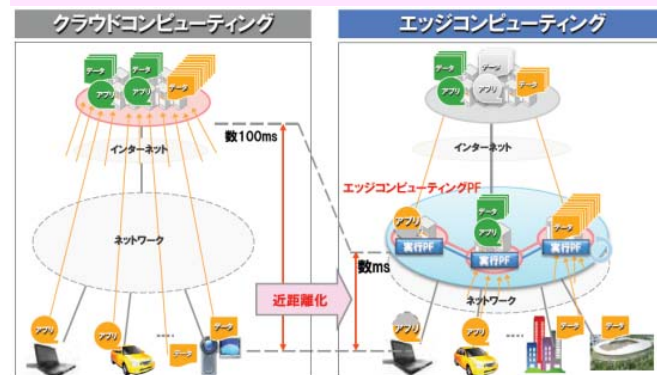
出典: Cisco:
ゼタバイト時代:
トレンドと分析
(2017.06.06)

省エネ技術・設備の導入拡大

省エネ機器、高効率空調、AI、IoT利用技術



データ処理の効率化 (エッジコンピューティング)

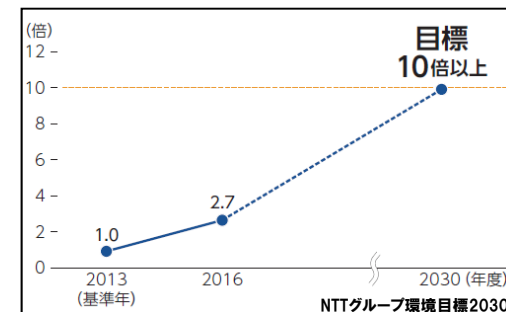


情報の活用・処理をネットワークの末端(エッジ)で行うことで、トラフィックを、計算の負荷を削減

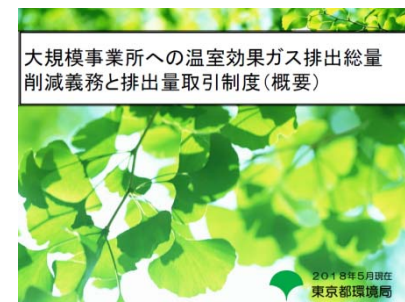
出典: 経済産業省 産業構造審議会 情報経済小委員会 分散戦略WG (第1回) 資料

情報通信の電力効率改善を継続し、削減目標達成をめざす

情報通信の電力効率改善



東京都排出量削減に貢献



出典: 東京都総量削減義務と排出量取引制度 制度概要資料